



2022年12月28日

各位



CDP気候変動調査2022における「B」評価の取得について

株式会社十六フィナンシャルグループ（代表取締役社長 池田 直樹、以下「当社」といいます。）は、CDPによる2022年の気候変動調査において、「B」評価を取得しましたので、お知らせします。

1. CDPについて

CDPは、2000年に設立された英国の非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しています。

2022年には、世界の時価総額の半分に相当する18,700社以上がCDPを通じてデータを開示しており、環境情報開示のグローバルスタンダードとなっています。

2. 当社評価について

CDPでは、企業の気候変動への取組みを8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）で評価しており、当社は上位から3番目となる「B」スコアを取得しました。この結果は、東海地区に本社を置く金融機関において最高位となります。

3. 当社の気候変動に対する取組みについて

当社は、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づき、気候変動関連の情報開示に積極的に取り組んでおり、今後も一層の開示拡充に努めてまいります。

「十六フィナンシャルグループSDGs宣言」の重点課題に掲げる「環境保全と気候変動対策」を推進するとともに、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

以上